



学校だより 7月号
雀鳥 つ子

令和7年6月30日(月)
内灘町立鶴ヶ丘小学校
校訓 強く 正しく すこやかに

夏を楽しむ 暑さを乗り切る



校長 堀井 洋一

7月1日は「氷室の日」です。みなさんご存じの通り、藩政時代、加賀藩は冬の間に氷室に貯蔵していた氷雪を旧暦6月1日（現在の7月1日）に徳川幕府へ献上していました。当時は飛脚が江戸まで4日間走り続けて届けたということです。その夏の氷はとても貴重だったことから目上の人や権力者への贈答品として使われていたそうです。現代ではアイスクリームやかき氷など冷たいお菓子は一年中手に入れることができますが、当時はそうはいきません。町の人々はどのように涼を楽しんでいたのか興味があるところです。ちなみに「氷室饅頭」の由来について調べてみたところ、「氷雪が将軍家に無事に届くよう饅頭を供えて祈願したことが始まりである。」とありました。みなさんのご家庭でも無病息災を願って食べられているかと思います。

さて、今年も梅雨ならではの蒸し暑い日が続いています。鶴ヶ丘小学校の子どもたちは、連日の暑さの中でも元気に過ごしています。教室はエアコンが効いていますが、体育館や運動場で身体を動かしたあとは、みんな汗だくになって教室に戻ってきています。また、掃除の時間でも多くの子が汗をかきながらぞうきんがけをして校内をきれいにしています。体育の授業、休み時間の後に子どもたちが水筒のお茶をゴクゴク飲んでいる様子を見ると、改めて教室の室温管理や水分補給が大切だと感じます。

また、6月から始まった水泳学習では、子どもたちの楽しそうな声がプールに響いています。先日もケガで見学になっている子が「（ケガが）早く直らんかな」とつぶやいていました。子どもたちにとっては期間限定のたのしみな学習のようです。7月いっぱいは水泳の授業が続きます。できるだけたくさん水泳授業ができるよう晴天を祈るばかりです。

一学期も残り3週間ほどになりました。子どもたちが健康で安全に過ごすことを第一に考え、熱中症対策や水泳時の安全対策の配慮をしていきます。

保護者の皆様におかれましても、子どもたちが十分に休養をとれるよう睡眠時間等適切な生活リズムにご配慮いただきますようお願いいたします。

「芝生植えつけ」ご参加ありがとうございました

6月28日（土）に芝の苗植えがありました。蒸し暑い日となりましたが、地域の方や西荒屋小学校の保護者の方を含め多くの皆様に参加していただき予定時刻より早く終了することができました。作業へのご協力ありがとうございました。

芝の養生のため、夏休み中は運動場の使用ができない予定です。いまのところ二学期開始には使用ができると考えています。今年の運動会は、鮮やかな緑の芝に覆われた運動場で開催することになります。子どもたちが元気に活躍する姿をとても楽しみにしています。